DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号　５９２

ビニローゼAP

１．一般名　塩化ビニル樹脂エナメル

２．規格　社内規格

３．特徴
１）耐候性、耐薬品性がすぐれており、ジンクリッチペイントと組合せて長期防食に最適である。
２）エアレス塗装、刷毛塗りが最適である。
３）耐放射線性、汚染除去性にすぐれている。

４．塗料性状

項目		内容			
容姿		1液性			
荷姿		16kg、4kg			
色相		白、各色			
光沢		つや有り			
密度(23℃)	塗料	1.20（白）			
	揮発分	0.85			
加熱残分		60%（白）			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	60分	30分	20分	15分
	半硬化	3時間	2時間	1.5時間	1時間
標準膜厚		20μm			
引火点		ＳＤＳ参照			
発火点		ＳＤＳ参照			
爆発限界(下限~上限)		ＳＤＳ参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

５．塗装基準

項目		内容			
下地処理		ビニローゼＡＰサーフェーサーの上に塗装する			
調合法		—			
熟成時間		—			
可使時間		—			
塗装方法		刷毛塗り、エアレス塗装、エアスプレー			
使用シンナー		ビニローゼシンナー			
塗装法	塗装方法	刷毛塗り			
	希釈率	30～50%			
	標準使用量	0.12kg/㎡			
	標準膜厚	20μm			
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	50μm			
エアレス塗装条件		２次圧10MPa(100kg/cm²)以上			
		チップ№163-513～517			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	4時間	3時間	2時間	1.5時間
	最大	—	—	—	—

注）標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

６．施工上の注意

(1) ビニローゼＡＰサーフェーサーの上に塗装することを原則とする。
(2) 塗装時ならびに塗料取扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁とする。
(3) ビニローゼＡＰ（エナメル）の塗膜は溶接や溶断、焼なまし等の熱処理によって分解し、ガスを発生するのでこのような個所には塗装しないか、又は熱処理前に塗膜を除去すること。
(4) 温水など60℃以上の加温部への使用は避ける。
(5) 希釈には必ずビニローゼシンナーを使用する。

７．関連法則

危険物表示	第４類第１石油類
有機溶剤区分	第２種有機溶剤含有物
有害物質表示	ＳＤＳ参照
劇物表示	—

８．使用上の注意［警告］

(1) 安全情報に関する内容は、ＳＤＳをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2024.09

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。